

# 北見工業大学 国際交流センター ニュースレター



## 【目次】

- インターナショナルCアワー：留学生歓迎会
- 新入学留学生オリエンテーション
- 語学研修説明会
- インターナショナルCアワー：お国紹介



## インターナショナルCアワー ～留学生歓迎会～

【4月22日(水) コミュニケーション・アトリウム】

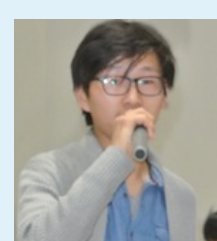
4月22日(水)に、本学コミュニケーション・アトリウムにて、今年度最初のインターナショナルCアワーが開催された。本学の留学生や日本人学生、市民の方々109名が集い、新入留学生の歓迎会を行った。会の冒頭では、4月に新たに加わった17名の留学生に向け、高橋信夫学長より「北見の地でいい思い出をたくさん作り、人間的に大きく成長して欲しい」と挨拶があった。続いて、アイスブレイクをかねたゲームが行われ「〇〇したことある人」と言うかけ声に続き、中央に集まりハイタッチをし、体を動かしながら、交流を深めた。参加者たちが打ち解けてきた頃に、新入留学生の自己紹介が行われ、この日のために準備した日本語の自己紹介を一生懸命披露してくれた。最後には、参加者全員での名刺交換が行われ、名刺の裏に書かれた数字が揃い、見事ビンゴになった人には、素敵な景品が贈られた。新入留学生たちにはここで得た人とのつながりを大切に、実りある留学生活を送ってほしい。



王安迪さん  
(中国)



ジョン・キフン  
さん(韓国)



エンヘボルド・ダ  
ワニヤムさん  
(モンゴル)

僕はハルビン工程大学から来た短期留学生のワンアンディです。一番好きな日本語の言葉は「一生懸命」です。なぜなら、途中で諦めず、命がけで取り組めば、乗り越えられないものはないと思うからです。僕が好きなのは中国の文学や日本の俳句です。趣味は料理を作ったり、歌を歌ったりすることです。よろしくお願いします。

私は、ジョン・キフンと申します。江原大学から来ました。電気電子工学科4年です。趣味は、映画とビデオゲームです。北見には、以前旅行で来たことがあるので、また来られてとても嬉しいです。北見は景色もきれいだし、人も親切だし、住むにはとても良い場所だと思いました。どうぞよろしくお願いします。

私の名前は、ダワニヤムです。私はモンゴルから来ました。北見工業大学は、自由なイメージがあります。例えば、様々な授業が開講されていて、興味がある授業には何でも参加できます。それに、日本人や留学生の友達もたくさん作れます。ここに来てから、仲の良い友達がたくさんできました。

## 新入学留学生オリエンテーション

【4月7日(火)・10日(金) B214講義室】

4月7日(火)、10日(金)に、B214講義室にて、4月に入学した短期留学生11名、正規留学生5名、研究生1名を対象とした新入学留学生オリエンテーションが開催された。許斐ナタリーセンター長より、入学後に行う学内および市役所等で行う事務手続きや履修登録、ごみ分別などに関する説明が行われた。その際、カルチャーショックや異文化適応についての紹介もあり、来日したばかりの短期留学生は、興味深げに聞いていた。また、インターナショナルCアワーや大学祭をはじめとする北見工業大学における年間行事が写真と共に紹介された際には、楽しそうな学生生活の様子に、目を輝かせる留学生たちの姿が見られた。続いて、北見警察署の細田裕子警部補より、日本のルールや防災に関する説明が行われた。昨今頻発している地震を想定して、「どこに避難するのか」、その際「何を持って行くか」について考え話し合う時間が持たれ、参加者の防災意識が高まった。最後には、チューターとの顔合わせがあり、緊張した面持ちで、日本語や英語で各々自己紹介をし、交流を深めた。



## 語学研修説明会

【4月23日(金) 多目的講義室】

4月23日(金)に、本学総合研究棟2階の多目的講義室にて、語学研修説明会が行われた。説明会では、今年8月、9月に実施されるドイツ語、英語(オーストラリア)、中国語(ハルビン)研修について、許斐ナタリーセンター長および鈴木特任講師より、その概要が説明された。約30名の

日本人学生が参加し、研修期間や内容、応募資格、費用等について、真剣に聞き入っていた。昨年度に引き続きドイツはフライブルク大学、オーストラリアは、シドニー大学およびブリスベンのクィーンズランド大学にて語学研修が開催される。また、今年度の中国語研修は、協定校であるハルビン工程大学で開催されることになり、それぞれの国や地域の特色を生かした研修内容に、参加者たちは興味津々のようだった。多くの日本人学生に、大学在学期間中に、一步海外に踏み出し、新しい環境に身を置き、語学力や専門性を磨いてもらいたい。



# インターナショナルCアワー ～留学生のお国紹介～

【5月28日（木）ミーティングルーム2】

5月28日（木）に、本学総合研究棟6階ミーティングルーム2にて、インターナショナルCアワーが開催された。今回のテーマは、留学生のお国紹介で、マレーシア人のダヤンヌル・ナディラさんとリー・ツイシャンさん、アルジェリア出身のボウラグバ・サアディアさんが母国の紹介してくれた。マレーシアの紹介では、4つの民族が共存し、複数の言語を話すという他民族国家ならではの話に、会場からはどよめきが起っていた。また、マレーシアの民族料理であるロティというパンの一種を作っている料理人の映像が流れた際には、その見事な技術に、歓声が沸き起こった。アルジェリアの紹介では、90%が砂漠である広い国土についての紹介があり、会場からは「砂漠は何か産業に利用されているのか」など、多くの質問が投げかけられた。また、アルジェリアの民族衣装や踊り、繊細で美しい手細工などが写真と共に紹介され、普段目にすることができない写真の数々に、参加者は皆、目を輝かせていた。50名を超える参加者が集い、活発な意見交換が行われた。



## ■ 今後の予定（6月～7月）

- 6月 7日（日） ところ昆虫の森自然体験 [ところ昆虫の森]
- 6月 19日（金） 留学生野草観察会 [富里湖キャンプ場]
- 6月 20日（土）・21日（日） 北見工業大学大学祭
- 6月 27日（土） オホーツク国際ふれあい広場 [パラボ]
- 7月 9日（木） インターナショナルCアワー：ペタクタ作り [第一総合研究棟6階]
- 7月 17日（金） 北見ぼんちまつり舞踊パレード